

3 平成14年度当初予算案の規模

平成14年度当初予算案の一般会計の規模は、県税収入が大幅減となる中、施策の徹底した見直しと重点的配分に努めた結果、1兆731億97百万円、対前年度当初比1.1%の減。

- ・歳出規模が減となったのは、公債費(5.8%増)、扶助費(3.4%増)等の義務的経費の増、また、インターハイ開催費(対前年度比2.4倍)などの臨時的経費が増となったものの、その他の一般行政経費や投資的経費について、「財政再建プラン」に基づき徹底した見直し・削減を行ったことが主な要因。

(単位：百万円、%)

区 分	H13	H14	前年度比
一般会計	1,085,572	1,073,197	98.9
特別会計	113,726	107,235	94.3
企業会計	89,938	82,014	91.2
計	1,289,236	1,262,446	97.9

* 特別会計減額の主な理由は、鹿島臨海工業地帯造成事業特別会計、港湾事業特別会計の減による。
企業会計減額の主な理由は、水道事業、下水道事業の減による。

(参考) 予算伸び率の推移

(%)

区 分	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
県一般会計	3.6	7.8	2.7	3.2	4.8	1.9	4.1	0.1	0.9	1.1
国一般会計	0.2	1.0	2.9	5.8	3.0	0.4	5.4	3.8	2.7	1.7
うち一般歳出	3.1	2.3	3.1	2.4	1.5	1.3	5.3	2.6	1.2	2.3
地方財政計画	2.8	5.9	2.0	3.4	2.1	0.0	1.6	0.5	0.4	1.9